つどい

・発行・
京都障害者
スポーツ
振興会
題字　芝田　徳造

スポーツのつどいイン伏見港

久しぶりにみんなに会えて良かった

〈開催経過〉

4月29日の祝日、体育館の空き時間を利用して「スポーツのつどいイン伏見港」を行いました。

一ヶ月余りの準備で水泳のつどいのリーダーで行える種目等考え準備に取り組みました。職場でフットサルを行っている職員に「9時から昼までフットサルやり放題。そのうち1時間ほどは障害のある人とミニサッカーをしてくれへん。つどいを手伝ってくれへんやろか」と声を掛けました。種目は①できるだけみんなで行える種目　②水泳のつどいのリーダーで行える卓球バレー・風船バレー・フライングディスク等

〈参加者の声〉

府立体育館や城陽のスポーツのつどいにはトランポリンがあったが、今日のつどいはなかった。トランポリンがあったらよかった。

フライングディスクやバスケットなどいろんな種目ができてよかった。

卓球の試合ができてよかった。

宝探しが楽しかった。

水泳のつどいがなくなって、休日に行くところが無いので困っています。

近くで楽しむところがなくなった。今回体育館で行ってもらってありがたいです。

たくさんの人と卓球バレーができてよかった。

短期間で準備されて大変だったと思います。ご苦労さんでした。

城陽のつどいではみんなで絵を描いたりしている。スポーツ以外のこともも行っても良かったのでは。

毎月プールで会っていたリーダーや参加者にひさぶりに会えてよかった。

今まで太陽が丘プールは行ったことはないが、6月の水泳のつどいには是非行きたい。

伏見港体育館で水泳だけでなく、またには体育館で今回のような行事を行ってもらっても良いと思う。

6月の水泳のつどいにも参加します。

水泳のつどいしか参加しなかったけど、機会があれば府立体育館のスポーツのつどいにも参加したい。

多くの人に参加してもらって嬉しかった。

絶対、6月1日太陽が丘プールに行くワ。

（案内を郵送した人から電話で）ありがとうございます。29日のつどいは是非参加します。

〈種　目〉

ミニサッカー
卓球バレー
卓球
バドミントン
風船バレー
フライングディスク
バスケット
宝探し

〈主な参加案内〉

開催が決まると直ちに案内ビラを作り、水泳のつどいに毎回参加されている人に郵送。城陽のスポーツつどいにも参加している人も多いので、4月開催の城陽のスポーツのつどいに行き案内ビラを配りながら説明。府立体育館のスポーツのつどいにも案内ビラを配りながら案内。

行事予定					
	6月	10（火）	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは第490回
		15（日）	第34回全京都障害者総合スポーツ大会 総合開会式・卓球バレー大会	府立体育館	
		22（日）	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	7月	6（日）	与謝野町障害者スポーツのつどい	大江山運動公園体育館	7 / 13
		8（火）	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
	京都障害者スポーツ振興会ホームページ　TEL／FAX075－712－7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/（2014年5月4日に一部更新）				第2日曜日

（17）　第2京都　　昭和50年（1975年）5月10日　土曜日　　京月

スポーツ

地道に続き36回

心身障害者スポーツのつどい

「巡回バスがほしい」

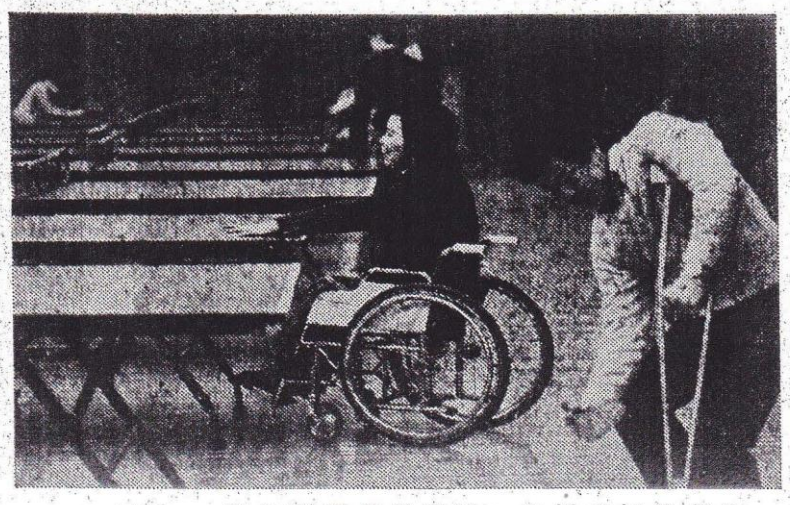
府立体育館の心身障害者（児）スポーツのつどいがこのほど三十六回を数えた。毎月第一日曜日午後のわずか三時間半というささやかなスポーツのつどいだが、体を動かす場所も機会も少ない人たちにとっては、健康を保つためにも仲間の輪を広げるためにも「こんなに楽しい時間はない」と大好評。参加者の数も毎回大きな変動もなく、地道に活動が続けられている。

体の不自由な人たちは、近くの広場を利用しようにも健康な人たちに押されて、締め出されることが多い。もともと運動量が少なく、そのためによけい体が弱くなって、さらに寿命が短くなりがちだ。そこで、府立体育館が建設されるときに、体の不自由な人たちの団体や父母、学校関係者が集まって「むしろ、一般の人たちよりもスポーツが必要なのだから」と訴え、このつどいが実った。

同体育館と全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会（委員長、芝田徳三立命館大教授）の共催で、四十七年三月にスタートした。種目は卓球、盲人用卓球、ローリングボール、車いすスラローム、車いすバスケットボール、トランポリン、ローリングバレーボールなど。「万難を排して第一日曜日は欠かさない」という方針。これまでに欠けたのは、身障者の団体や健康人の各種大会が集中する十月だけである。

参加者は毎回七十人前後と変わらない。遠くは郡部からも。昨年の府域身障者団体では、高校の体育の時間は、見学だけだったという京都市南区の中川りつ子さん（三）が、車いすスラロームと六十メートルダッシュで金メダルを獲得した。

しかし、このつどいを利用している人はまだほんのわずかだ。京都市だけでも身体障害者といわれる人が二万人はいるといわれている。自分はスポーツはできないと思い込んでいる人もいるという。が、「スポーツどころではない」と生活に追われている人も多い。さらに当日に雨が降ると、参加者が減るように雨の中を松葉ヅエでは参加できない。「寝たきりの人にも、その人に合ったスポーツが必要なんです。そんな人たちのためにも、介助員をつけた巡回バスを、と府や市に要求しているのですが、なかなかたこまではやってくれないようです」と芝田徳三教授はいっている。



体の不自由な人たちに大好評の心身障害者スポーツのつどい（京都市北区・府立体育館で）

懐かしい人からメールがありました

12月から仕事に戻り・・・毎日毎日保育園から呼び出しが無い日が本当に無いぐらい、とっかえひっかえチビちゃん達が熱だした～と呼びだされ、鼻水小僧を抱えながら養女の習い事行事に巻き込まれ、それでも母(私)もなにがなんでも趣味の楽器は辞められない！！　と欲張りつつ・・・でも仕事もやりたいことが山盛り。「綱渡りで毎日しんどい、もう嫌」といいながら今を楽しんでいます。恐ろしく忙しいですが・・・大阪のおばちゃんパワーです。ここ数ヶ月、枚方から出ることができていません。京都を訪れることを夢見て過ごしています。

かしはらえりこ♪

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

障がいのある子どものスポーツ教室

夏休みに京都市内の小学生を対象に、いろんなスポーツを経験してもらうためスポーツ教室を行います。

日時　平成26年7月30日（水）午前9時～13時30分

場所　京都市立深草小学校　京阪「藤森」駅下車

対象　京都市内小学校の育成学級に在籍の児童

定員　30名（定員になり次第受付終了）

種目　陸上・卓球・卓球バレー・水泳

費用　無料

主催　京都障害者スポーツ振興会

後援　京都市教育委員会

協力　京都市立深草小学校

詳細ならびに申込みは振興会事務所まで

つどい500回ニュース

つどい専門部長の辻井さんが作成された資料を基に、スポーツのつどいの設立から現在までのつどいの紹介を行いました。

6月の準備会は芝田顧問の「つどい500回の成果とつどいの未来」で講演を行います。